

HandyTDを用いて、市販食品用ラップ(耐熱温度140°C)の簡易熱抽出分析を行いました。  
HandyTDでラップを直接加熱し、揮発性成分をGC/MSに導入しました。分析した結果、加熱温度が140°C以上になるとピークが多数確認され、炭化水素・脂肪酸・高級炭化水素のエステル系化合物が検出されました。

## 前処理の手順

食品用ラップ片

86.2 mg をライナーに入れ、  
HandyTDでGCMSへ導入

シリカウール



分析前のラップ片

TD/GC/MS  
① 80°C

①80°C抽出後

TD/GC/MS  
② 140°C

②140°C抽出後

TD/GC/MS  
③ 180°C

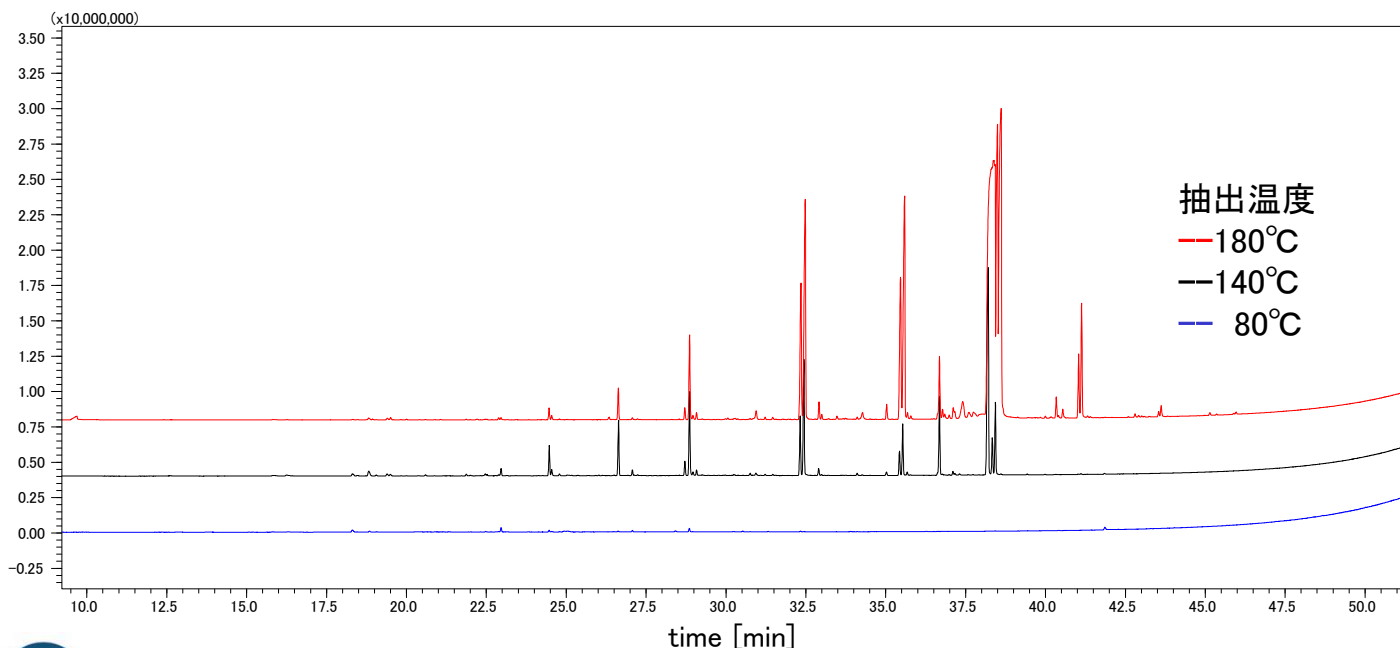
③180°C抽出後

## GC Conditions

**System** : HandyTD TD265-GC/MS  
**Column** : InertCap 5MS/Sil  
 0.25 mm I.D. × 30 m, df = 0.25 μm  
**Col.Cat. No.** : 1010-15142  
**Col.Temp.** : 40 °C (5 min) - 6 °C/min - 320 °C  
**Carrier Gas** : He, 0.97 mL/min  
**GC Inlet** : 300 °C, Split 7:1  
**Detection** : MS Scan (*m/z* 29-500)

## HandyTD Conditions

**Temp.** : ① 40°C-45°C/sec- 80°C (3 min)  
 ② 40°C-45°C/sec-140°C(3 min)  
 ③ 40°C-45°C/sec-180°C(3 min)  
**Press.** : 75 kPa



ジェエルサイエンス株式会社

〒163-1130 東京都新宿区西新宿 6-22-1 新宿スクエアタワー 30F  
TEL.03-5323-6611 FAX.03-5323-6622

※各試験法は、変更される場合がありますので、分析の前に確認されることを  
お薦めします。

データに起因し、直接的または間接的に生じたいかなる損害に対しても、  
当社が責任をおうものではありません。また、記載事項につきましては、予告  
無しに改訂する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

カスタマーサポートセンターでは、ノウハウのご提供と分析に関するフォローを行なっております。  
お困りの際には、カスタマーサポートセンターまでお気軽にお問い合わせください。

カスタマーサポートセンター (土・日・祝除く9:00-17:00)

☎ 04-2934-1100 ✉ info@glsc.co.jp



【アプリケーションの検索はこちら】

[https://www.glsc.co.jp/technique/app/app\\_search.html](https://www.glsc.co.jp/technique/app/app_search.html)